

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	2783
部名	経済部	課名	勤労福祉課	課長名	湯舟 博光
事務事業名	技能功労者表彰				
予算上の事務事業名	技能功労者表彰費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23240		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第2節 安心して暮らせるまちづくり				事業開始年度
施策名	第4施策 勤労者対策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市技能功労者表彰要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
永年に渡り、同一の技能職種に従事し、技能の錬磨、後進の育成に努めた技能者に対してその功績をたたえることにより、技能尊重の気風を醸成、技能者の社会的地位の向上及び若年技能者の技能習得、意欲の高揚を図ることを目的とする。			30年以上同一技能職に従事し、60歳以上の者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
開催日 平成16年11月9日(火) 会場 市民会館大会議室 推薦者 技能職団体(大工、調理人、理容師等26職種・36団体) 被表彰者数 50人 内訳年齢別 30歳代1人 50歳代1人 60歳代42人 70歳代6人 表彰審査委員会を平成16年10月4日(月)に開催し、57名から50名を選考した。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
伝統技能チャレンジャー事業の受け入れについて、技能功労者表彰の推薦を依頼する技能職団体に所属する事業所に検討してもらっている。 県内の複数他市でも同様な目的、内容で実施している。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	556	476	384	465	465
一般財源	556	476	384	465	465
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,023	977	984	984	984
事業コスト合計(a)	1,579	1,453	1,368	1,449	1,449
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	技能功労者表彰			対象名称(単位)	被表彰者数(人)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	1,579	1,453	1,368	1,449	1,449
対象数	50	50	50	50	50
単位あたり経費(円)	31,580	29,060	27,360	28,980	28,980
前年度比		0.92	0.94	1.06	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	被表彰者選定率		指標式と指標の説明	被表彰者数 / 50名 × 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	100.0	100.0	100.0			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	表彰式出席率		指標式と指標の説明	当日出席者数 / 50名 × 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	90.0	86.0	92.0			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	90.0	86.0	92.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		伝統技能チャレンジャー事業との関連もあり、後進の育成をするという意味においても現在の事業継続が望ましい。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 被表彰者の方々には、より一層の伝統技能の発展及び職種の向上に努めていただくとともに、後継者を育成し、若年者の雇用拡大についても寄与していただきたい。			14 課題として認識されたこと 表彰後の被表彰者の活用について			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				